

人口減少対策特別委員会

- ・移住・定住対策、UIJ ターン対策
- (1)魅力あるまちづくり(観光振興など)
- (2)魅力ある働く環境整備
- (3)企業誘致

【社会減対策に対する私見】

(1)魅力あるまちづくり→《郷土愛を育む活動をし社会減に歯止めをかけよう。》

上越市は海山に囲まれ四季豊かで食べ物も美味いく、上杉謙信公や高田城址公園の桜や蓮をはじめ沢山の観光資源に恵まれています、今一それが町の魅力に繋がらず移住定住に結びついていないのが悩みとを考えます。それを解決するには1つは、sns等を通じた発信力を活かす事。

そして根本的には、今そこに住む我々上越市民が自分たちの街の良さを実感し、子や孫たちなど後世に伝えていく事、つまり郷土愛を育む教育こそが、大学卒業後や社会人としてリタイア後などのUIJターンにも響いてくると考えます。学校教育や社会教育の中で、地域の偉人や文化について郷土愛を育み、住んでいる我々自身が故郷を好きになる事が必要と考えます。よって郷土愛教育の啓発を進めるべきであります。

(2)魅力ある働く環境整備→《働き場の環境をあげて収入を増やし『自立』を促そう。》

私自身が結婚が42歳と晩婚であり、理由は様々ありますが、一番の理由が経済的に『自立』するまでは結婚は出来ないと思込んでいた事があります。

家族を養う責任が男性に重くのしかかる不安感を取り除くことが大切であります。地方では民間の収入が伸び悩む中、女性も一緒に家庭を支えていく共働きが増えているのは自然の流れであります。だからこそ、自然減対策の根本的な解決には、特に男性の自立を成就すべく収入が満たされる等、働き場の環境整備が必要と思います。農業や建設業など上越市の基幹産業を強力に支援し、地域全体の所得向上策を講じて、地域力をアップさせる事が求められると考えます。

(3)企業誘致→《新しいリモートワークなどの企業誘致を目指す。》

大型工場を誘致しても外国人労働者に頼る現状を鑑みるに、(2)の今ある企業の働き場の環境向上(収入増)が優先と考えますが、コロナ禍で進んだ、新しい働き方であるリモートワークなどを主とする企業誘致は推進すべきであると考えます。